

フェノチアジンによる豚蛔虫の駆除試験

長野 錬太郎*・伊藤 祐之*

NAGANO, R. & ITO, S. The Efficacy of Phenothiazin in Removing Ascarids of Swine

フェノチアジン (Thio-diphenylamin) は家畜寄生虫駆除薬として知られているが、本邦においては、未だ豚における実験例が多くなき、また副作用として、仔豚の場合、失明、麻痺、或は過量の場合は致死する

*九州農業試験場

などの報告もあるので、我々はその駆虫剤としての効果を験した。

方法 I. 供試豚 14頭 (生後日令 99日~202日、体重 16 kg~62 kg). II. 投薬法、練餌に混入攪伴して与え、絶食は行はずまた下剤も使用しなかつた。

蛔虫卵の排泄数 (E.P.G) 及排虫数

豚番号		1	2	3	4	5	6	7
区分	豚番号							
休重	kg	37	36.2	28.7	53.9	46.6	26.7	16.4
生後日令		159	159	161	160	160	119	119
投薬前		3300 ×	13800 ×	7800 ×	900 ×	2100 ×	1800 ×	8100 ×
投薬后1日		6600	2700	9600	4200	16800	1200	8100
排虫数		♂2, ♀1	♂1, ♀1	♂4, ♀7	♂6, ♀3	♂5, ♀5	♂10, ♀18	♂14, ♀30
排虫数	2	1500	5700	3900	0	300	0	0
排虫数	3 ~ 5	1000 ×	2500 ×	200	0	0	0	0
排虫数	6	1800	2400	0	0	0	0	0
排虫数	7 ~ 10	♀1	♀2					
排虫数	7 ~ 10	0	150	0	0	0	0	0
排虫数計		4	7	11	9	19	28	44
完全駆虫率	I回	△	△	○	○	○	○	○
	II回	○	△					

豚番号		8	9	10	11	12	13	14	虫卵の陰轉率
区分	豚番号								
休重	kg	23.5	21.7	30.8	60	34.5	31.4	18.3	
生後日令		119	123	177	153	202	99	100	
投薬前		2100 ×	6300 ×	3600 ×	6900 ×	1200 ×	4800 ×	6600 ×	0%
投薬后1日		900	12000	300	5700	+	+	+	0
排虫数		♂3, ♀7	♂1, ♀9	♀3	♂2, ♀7	0	♂1, ♀5	0	
排虫数	2	0	7800	0	0	0	+	+	50
排虫数	3 ~ 5	0	3200	450 ×	0	300 ×	+	+	50
排虫数	6	0	0	300	0	1600	1200	5200	64
排虫数	7 ~ 10	0	0	300	0	♀2	+	+	第2回で83
排虫数計		10	10	3	10	2	6	0	163
完全駆虫率	I回	○	○	△	○	△	△	△	57%
	II回			△		○			83%

備考 E.P.G (糞便 1gm 中の虫卵数)
 △ 虫体, 虫卵を残存するもの
 ○ " " を見出さざるもの
 × 投薬

Ⅲ. 投薬量 体重 10 kg 迄 (5 gr), 10~20 (8), 20~50 (12), 50~100 (20) とした.

成績 I. 蛔虫卵の排泄状況及び排虫数は表の通りで排虫率は高く、一回だけの投薬で 85%, また完全駆虫率 (虫体を排出した後、虫卵の排出や虫体の寄生が認められない頭数の全試験頭数に対する 100 分率) は一回の投薬で 58% であつた。また虫体は投薬後約 20~48 時間の間に排出され、それは排出された直後において、運動性を失つてはいなかつた。

Ⅱ. 腸結節虫の虫卵は 100% の陰転率を示したが、排虫は確認出来なかつた。

Ⅲ. 大腸バランチゼウム、桿虫も同時に観察したが卵、若しくは原虫の減少は認められなかつた。

Ⅳ. 副作用として赤色を呈する尿を、投薬後 2~6

時間より 24~31 時間頃まで全豚に認めた。嘔吐は試験豚のうち 4 頭に投薬後まもなく認められ、また食慾は殆んど豚が 1~2 日間、やや減退した。腰部及び四肢の麻痺を臨床上、認知出来たもの 5 頭で、内 2 頭は歩様踰眼として麻痺は著明であつた。排糞、体温、呼吸等には異状はなかつた。

V. 剖検 試験豚 1 頭に過量に投薬し (体重 40 kg に本剤を 20 gm) 剖検した結果、軽度のカタル性胃炎を認めた外に異状はなかつた。

考察 本試験の薬用量では、致死的転帰をとるものまた後遺症を残すものはなく、蛔虫に対する駆虫効果は認められたのであるが、ただ一回の投薬では、完全駆虫は望み難く、再度の投薬が望ましい。